

Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

取扱説明書 / 施工要領書

- アルミ直ビーム
(BJ-173ST/BJ-174DB)
- ビーム固定金具
(BJ-171ST/BJ-172DB)
- ビーム用ジョイント
(BJ-175ST/BJ-176DB)
- ビーム用エンドキャップ
(BJ-177ST/BJ-178DB)

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので
あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

 マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2020年12月1日制定【00】

警告

- ⊘ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつけたり、強い衝撃を与えない。
ビーム部分がたわんだり、部品が破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

本製品に乗ったりぶら下がらない。
ビーム部分がたわんだり、部品が破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押したり、引いたりしない。
ビーム部分がたわんだり、部品が破損し、思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 製品を分解・改造しない。

固定部のねじ等をゆるめたり、製品を分解・改造しない。
使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になる。
また、重大事故につながる場合がある。



- ⊘ 破損があるものは使わない。

ビームや部品に破損がある場合はすぐに使用を止める。
思わぬケガの原因になる。



- ⊘ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



- ⚠ 本製品に破損がある場合はすぐに使用を止めて、施工店、またはマツ六に連絡する。



お手入れ方法

利用者用

ふだんはやわらかい布で拭く。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。仕上げに乾拭きをして、水分を完全に取り除く。
汚れが目立たないうちから、こまめなお手入れを行うこと。

消毒の方法 ※市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合

- 塩素系洗剤を濃度0.02%^{注1)}(500mlのペットボトル1本の水に2ml、ペットボトルのキャップ半杯)以下で希釈する。
注1)厚生労働省「社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策の一層の徹底について」における消毒液の基準に準じる。
- 柔らかい布に含ませた後、固く絞り、洗剤が1か所に溜まらないように注意しながら手早く拭く。

注意

- ⊘ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。



- ⊘ クレンザー、磨き粉は使用しない。

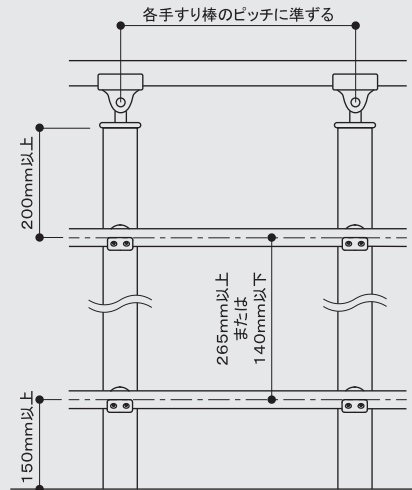
クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しない。



- ❗ ビーム固定金具の取付けは、手すり棒を取付けた後に行い、下図寸法を必ず守る。
※支柱用化粧カバーが後付けタイプではない場合、手すり棒とビーム固定金具を取付ける前に必ず支柱にセットする。

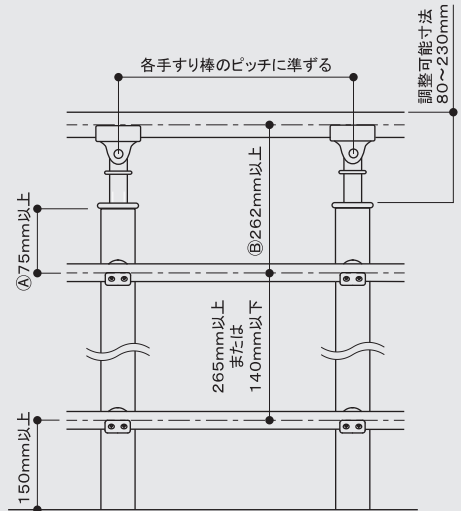
● 高さ調整機能がない支柱の場合

- ・E埋め込み式【支柱(H900・1200)/エンド支柱(H900・1200)/コーナー支柱】
- ・Eベースプレート式【支柱(H900・1200)/エンド支柱(H1200)】
- ・遮断機式軸側(受側)支柱【埋め込み式/ベースプレート式】
- ・フロント用支柱【埋め込み式/ベースプレート式】



● 高さ調整機能がある支柱の場合

- ・埋め込み式(支柱/エンド支柱/コーナー支柱)
- ・ベースプレート式(支柱/エンド支柱/コーナー支柱)
- ・勾配対応式(支柱/エンド支柱/コーナー支柱)

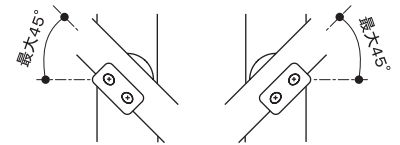


支柱上部にビームを設置する場合、首狭み防止の観点から、**Ⓐ** かつ **Ⓑ** となるようビーム固定金具を取付ける。

⚠ 注意

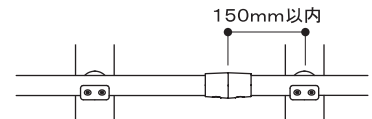
- ⊘ ビームを手すりとして使用しない。

- ❗ ビーム固定金具の首振り角度は上下45°までとして、それ以上の角度でビームを取付けない。

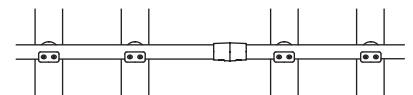


- ❗ ビーム用ジョイントは最小限の数で取付ける。

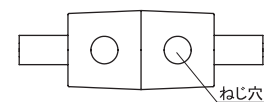
- ❗ ビーム用ジョイントの中心部から150mm以内にビーム固定金具を取付ける。



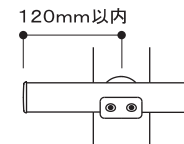
- ❗ ビーム用ジョイントの両側には、ビーム固定金具を必ず2個ずつ以上取付ける。



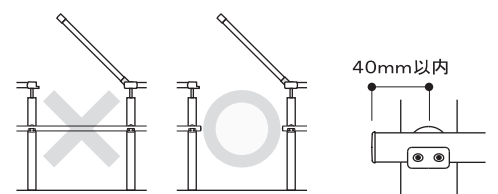
- ❗ ビーム用ジョイントの下穴は、本体のねじ穴の中心に位置するようにあける。
本体とねじ頭が干渉し、施工不良の原因になる。



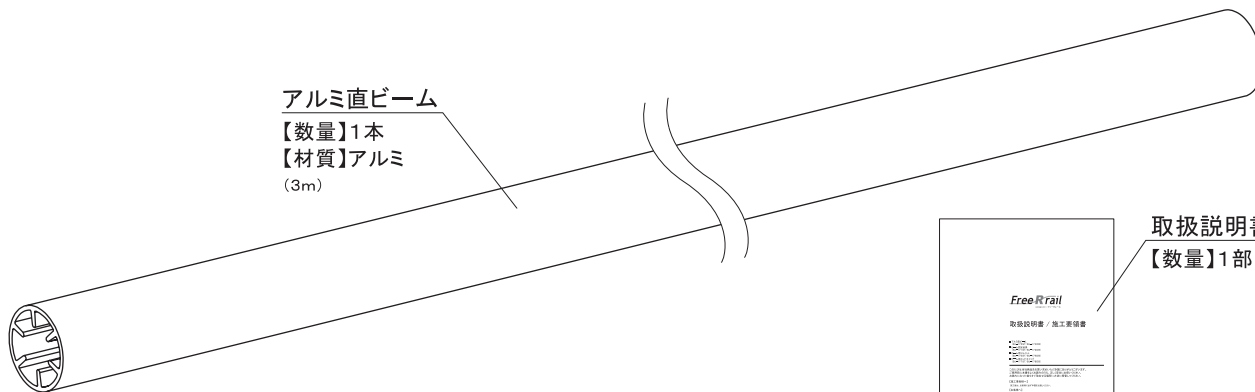
- ❗ ビーム用エンドキャップは、ビーム端部の持ち出し長さが120mm以内となるよう取付ける。



- ❗ 遮断機式支柱に取付ける場合、遮断機部分はビームを連続させない。また、ビーム端部の持ち出し長さは40mm以内とする。



アルミ直ビーム
(BJ-173ST/BJ-174DB)

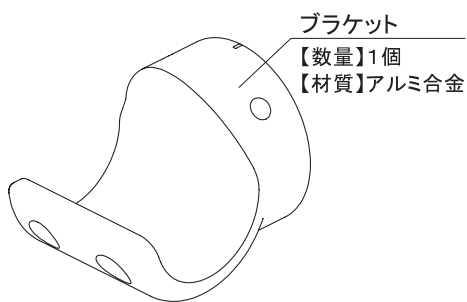


アルミ直ビーム
【数量】1本
【材質】アルミ
(3m)

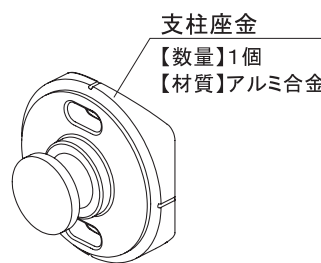


取扱説明書/施工要領書
【数量】1部

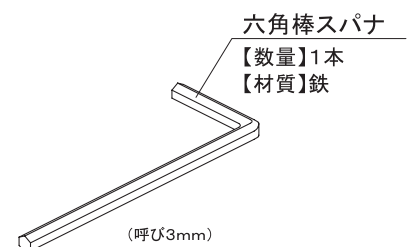
【別売】ビーム固定金具
(BJ-171ST/BJ-172DB)



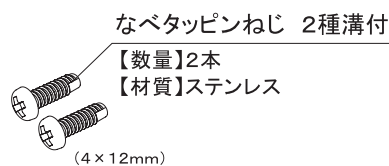
ブラケット
【数量】1個
【材質】アルミ合金



支柱座金
【数量】1個
【材質】アルミ合金



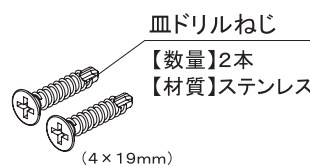
六角棒スパナ
【数量】1本
【材質】鉄
(呼び3mm)



なべタッピンねじ 2種溝付

【数量】2本
【材質】ステンレス

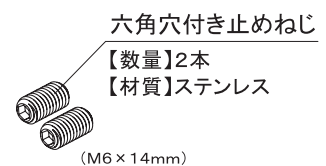
(4 × 12mm)



皿ドリルねじ

【数量】2本
【材質】ステンレス

(4 × 19mm)

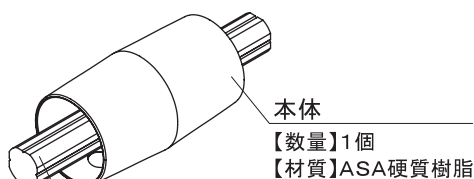


六角穴付き止めねじ

【数量】2本
【材質】ステンレス

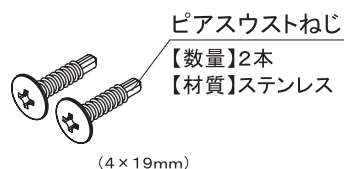
(M6 × 14mm)

【別売】ビーム用ジョイント
(BJ-175ST/BJ-176DB)



本体
【数量】1個
【材質】ASA硬質樹脂

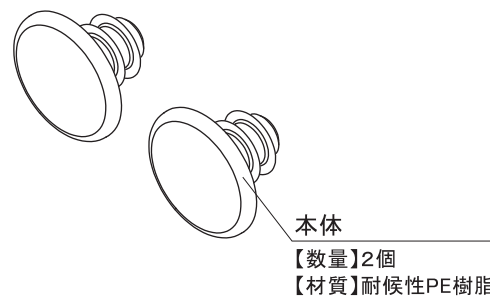
アルミ芯材
【数量】1個
【材質】アルミ



ピアスウストねじ
【数量】2本
【材質】ステンレス

(4 × 19mm)

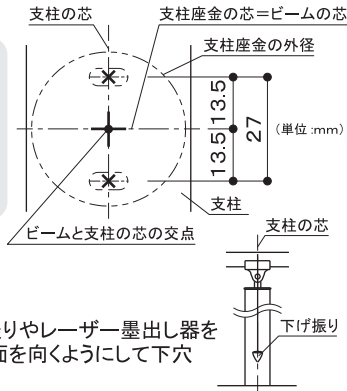
【別売】ビーム用エンドキャップ
(BJ-177ST/BJ-178DB)



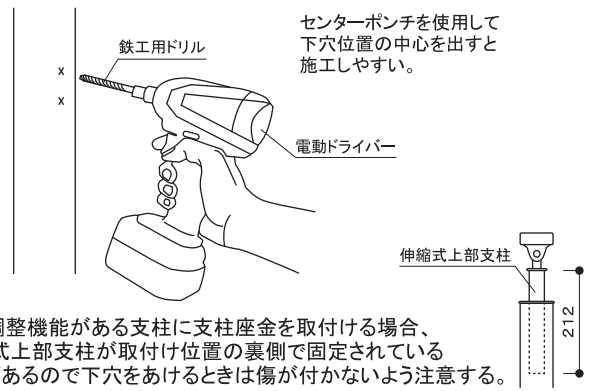
本体
【数量】2個
【材質】耐候性PE樹脂

① 支柱に支柱座金の下穴位置(×)をケガく。

1. ビームの芯(水平方向)にしるしをつける。
2. ビームの芯と支柱の芯(垂直方向)が交わる位置(交点)にしるしをつける。
3. 交点から上下13.5mmが下穴位置となる。



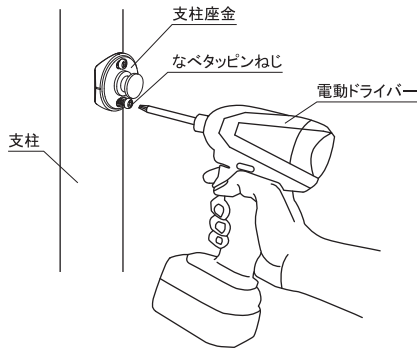
② ケガいた位置に鉄工用ドリル(φ3.3mm)で下穴をあける。



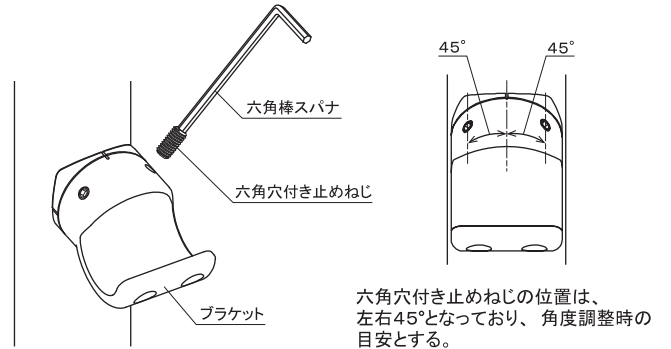
❗ 支柱の芯を出す際は下げ振りやレーザー墨出し器を使い、支柱座金同士が正面を向くようにして下穴位置をケガく。

❗ 高さ調整機能がある支柱に支柱座金を取付ける場合、伸縮式上部支柱が取付け位置の裏側で固定されていることがあるので下穴をあけるときは傷が付かないよう注意する。

③ なべタッピンねじ 2種溝付(4×12mm)で支柱座金を支柱に取付ける。



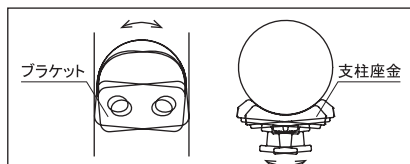
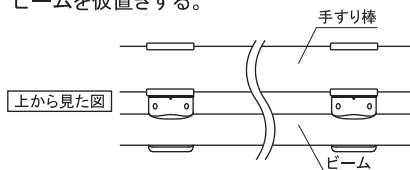
④ ブラケットを支柱座金に挿入し、六角穴付き止めねじ(M6×14mm)を六角棒スパナ(呼び3mm)で仮止めする。



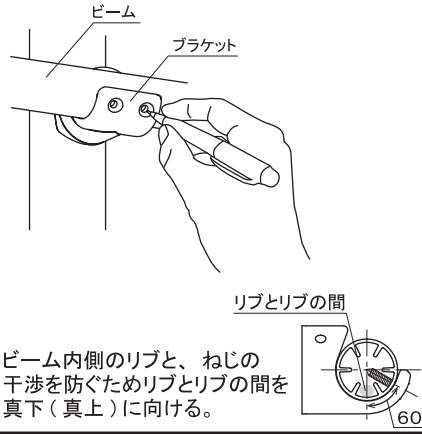
⊘ ねじ頭が支柱座金に当たってからは、ねじを締め過ぎない。下穴が広がり、ねじが効かなくなる。

❗ ビームを仮置きしたときに角度が調整できるように、六角穴付き止めねじはきつく締め込まない。

⑤ 他の支柱にも同様に、ビーム固定金具を①~④の手順に沿って取付け、ブラケットにビームを仮置きする。



⑥ ビームを仮置きした状態で、ビームの下穴位置をケガく。



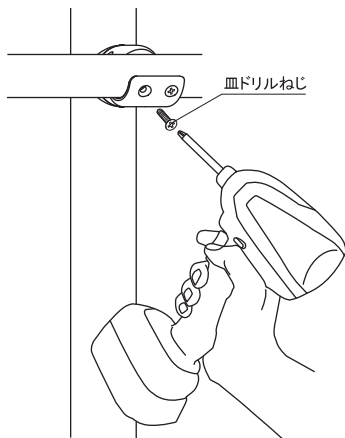
⑦ ケガいた位置に鉄工用ドリル(φ3.3mm)で下穴をあける。



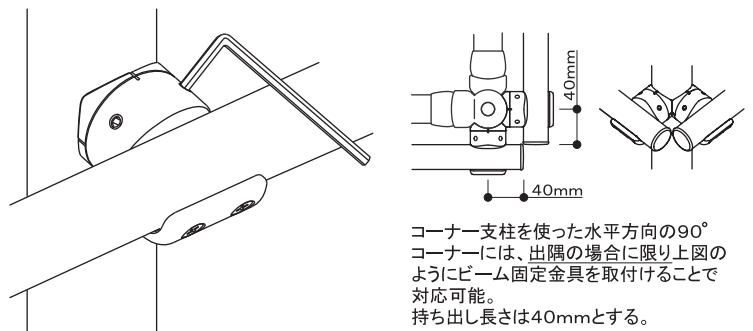
❗ ビーム内側のリブと、ねじの干渉を防ぐためリブとリブの間を真下(真上)に向ける。

センターポンチを使用して下穴位置の中心を出す施工しやすい。

⑧ 皿ドリルねじ(4×19mm)でブラケットにビームを固定する。



⑨ 仮止めしていた六角穴付き止めねじ(M6×14mm)を本締めして完了。

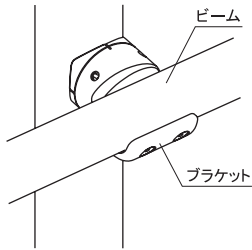


❗ 施工後はガタツキがないことを必ず確認する。

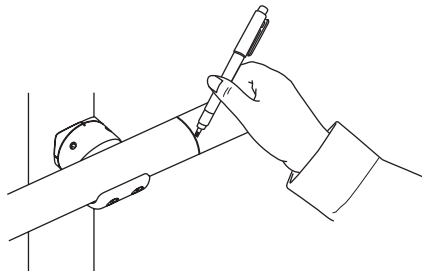
施工手順 ビームのカット方法

施工者用

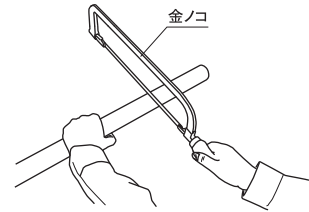
① ブラケットにビームを仮置きする。



② ビームにカットする位置をケガく。



③ ブラケットからはずし、ケガいた位置を金ノコで切断する。

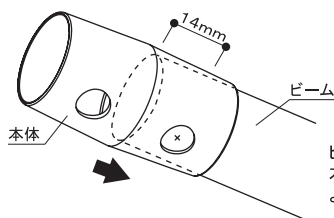


❗ 小口が斜めにならないようにカットし、残ったバリは金属ヤスリ等で必ず処理する。

施工手順 ビーム用ジョイント(別売)

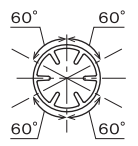
施工者用

① ねじ穴が下を向くように本体をビームに差込み、ねじ穴の中心(ビームの端部から14mm)にねじ止め位置をケガく。

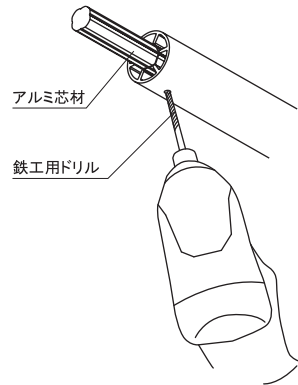


ビーム用ジョイントの下穴は、本体のねじ穴の中心に位置するようにあける。

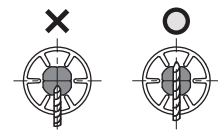
1. ビームの取付け高さが低い
または
2. ビーム同士の間隔が狭い
のいずれかの場合は、右図に従い
60°の位置で取付けても良い。



② 本体を一度はずし、アルミ芯材をビームに半分差込み、①でケガいたねじ止め位置に鉄工用ドリル(φ3.7mm)で下穴をあける。



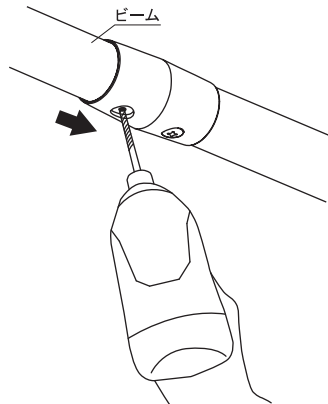
❗ 下穴はアルミ芯材を貫通させる。



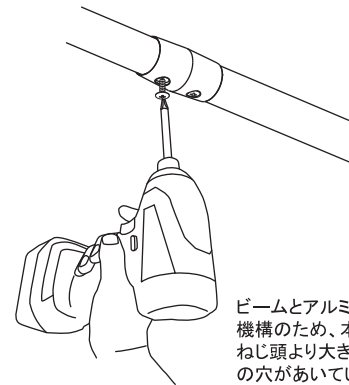
③ 本体を差込み、ピアスウストねじ(4×19mm)で固定する。



④ もう一方のビームを本体に差込み、①と同様にねじ止め位置をケガき鉄工用ドリル(φ3.7mm)で下穴をあける。



⑤ ピアスウストねじ(4×19mm)で固定し完了。



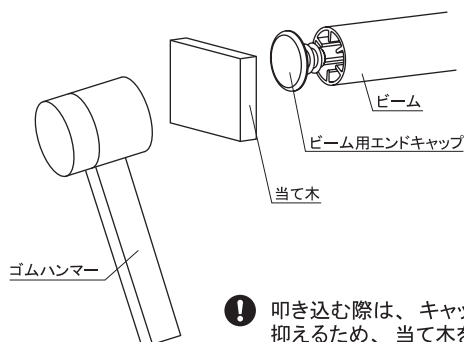
ビームとアルミ芯材を固定する機構のため、本体には取付けねじ頭より大きめ(φ10.5mm)の穴があいている。

❗ 施工後はガタツキがないことを必ず確認する。

施工手順 ビーム用エンドキャップ(別売)

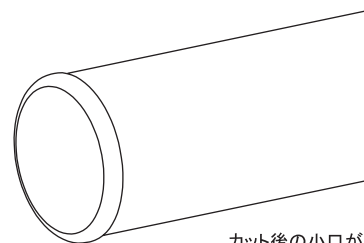
施工者用

① ビーム用エンドキャップをビームの小口に当て、ゴムハンマー等で叩き込む。



❗ 叩き込む際は、キャップ表面の損傷を抑えるため、当て木をする。

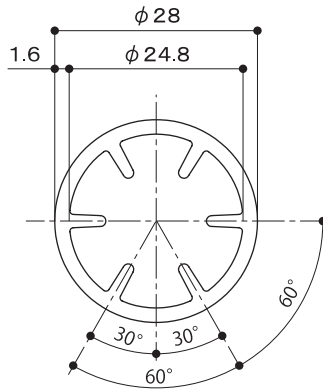
② ビームとビーム用エンドキャップにすき間が無いことを確認し完了。



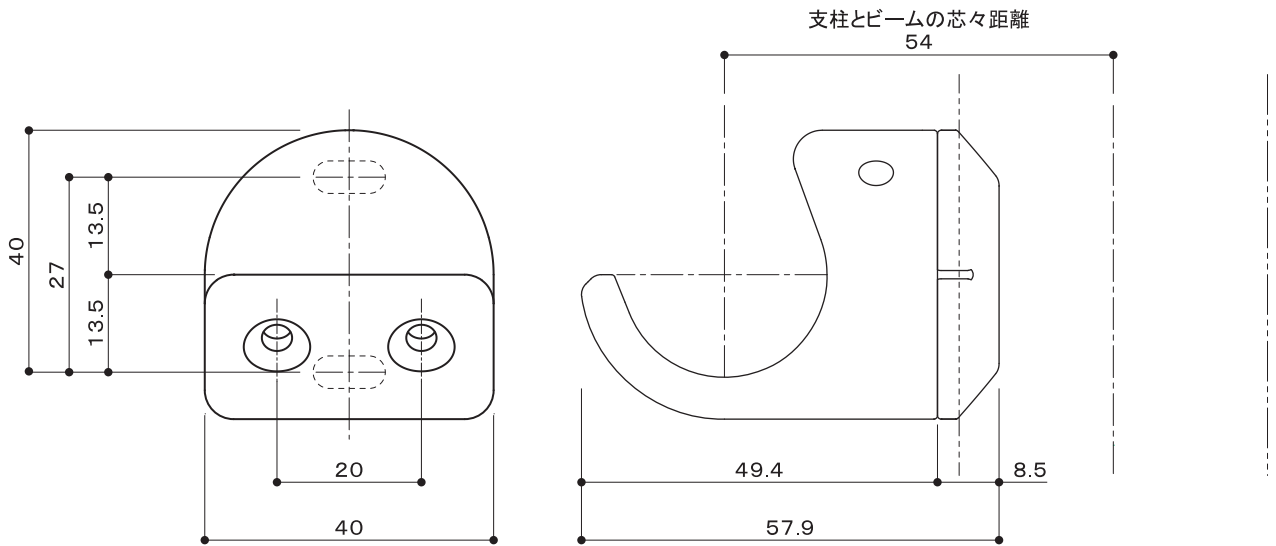
カット後の小口が斜めになっていたり粗い場合は、若干のすき間が生じる可能性がある。

❗ 取付け後はガタツキがないことを必ず確認する。

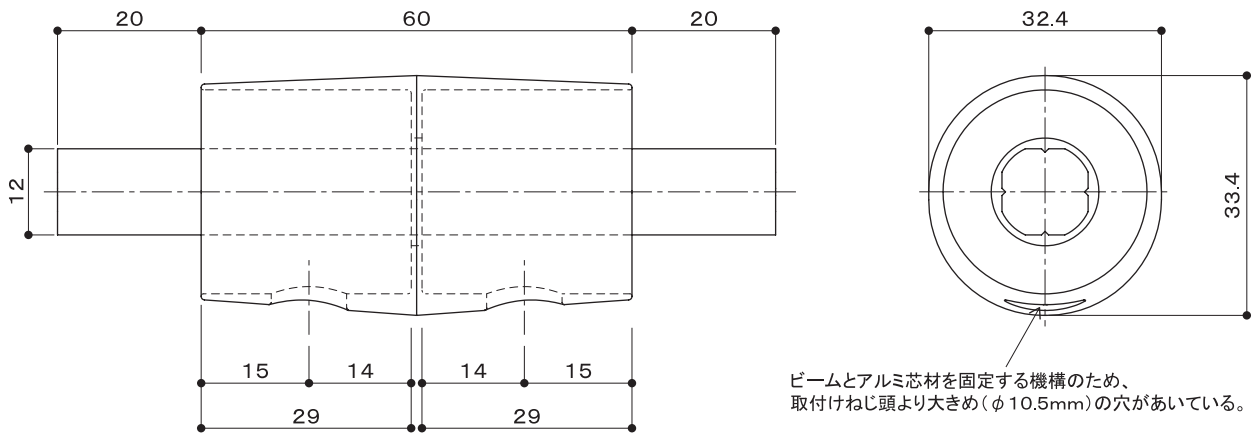
アルミ直ビーム



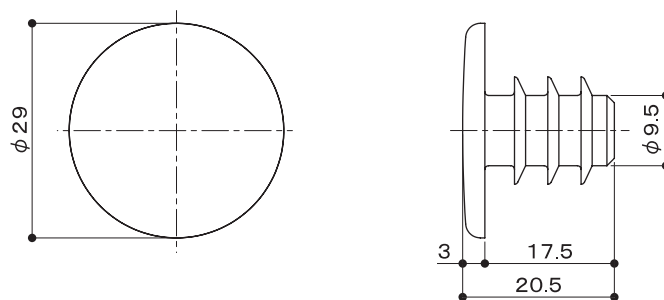
【別売】ビーム固定金具



【別売】ビーム用ジョイント



【別売】ビーム用エンドキャップ



Free R rail